長野高校（普通科）シラバス

学校番号	321

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史Ｂ改訂版（山川出版社）						
副教材等	グローバルワイド最新世界史図表　（第一学習社） 高校世界史基本用語問題集ツインズ・マスター　改訂版　（山川出版社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じ、現在との関係を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を世界の歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に参加しようとする姿勢を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に参加しようとする意欲、態度を示している。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	諸地域世界の形成	・オリエントと地中海世界 ・アジア・アメリカの古代文明 ・内陸アジア世界・東アジア世界の形成	○ ○ ○	○	○ ○	○ ○ ○	a:ユーラシア各地に形成された諸文明の特質について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:ユーラシア諸文明の特質を見いだし、地域世界相互の文化変容などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:ユーラシア各地に形成された諸文明の特質について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	諸地域世界の交流と再編	・イスラーム世界の形成と発展 ・ヨーロッパ世界の形成と発展 ・内陸アジア世界・東アジア世界の展開	○ ○ ○	○ ○	○	○ ○ ○	a:ユーラシア諸文明の交流と再編について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:ユーラシア諸文明と交流と再編の特質を見いだし、地域世界相互の文化変容などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:ユーラシアの諸文明と交流と再編の特質について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
2学期	アジア諸地域の繁栄 近世ヨーロッパ世界の形成	・東アジア世界の動向 ・清代の中国と隣接諸地域 ・トルコ・イラン世界の展開 ・ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展 ・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革 ・ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:設定された時代の諸地域の特質を見いだし、世界商業の進展などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄について理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート

2学期	近世ヨーロッパ世界の展開　近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・重商主義と啓蒙専制君主 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17～18 世紀のヨーロッパの文化と社会 ・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:17、18 世紀後期以降のヨーロッパ世界の様子について、社会の変化と新たな社会の成立に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:17、18 世紀後期以降のヨーロッパ世界の変貌の特質を見いだして、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:17、18 世紀後期以降のヨーロッパ世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:17、18 世紀後期以降のヨーロッパ世界の変貌についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	欧米における近代国民国家の発展　アジア諸地域の動揺	・ウィーン体制の成立 ・ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 ・南北アメリカの発展 ・19 世紀欧米の文化 ・オスマン帝国支配の動揺と西アジア諸地域の変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a:18 世紀後期以降の諸地域世界の様子について、社会の変化と新たな社会の成立、ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌の特質を見いだし、19 世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

3学期	帝国主義とアジアの民族運動　二つの世界大戦	・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対立 ・アジア諸国の改革と民族運動 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・第二次世界大戦	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ 	a:19 世紀末から 20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:20 世紀という時代の特質、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:20 世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート
	冷戦と第三世界の独立　現在の世界	・戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 ・米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 ・第三世界の台頭と米・ソの歩みより ・石油危機と世界経済の再編 ・社会主義世界の変容とグローバリゼーション ・途上国の民主化と独裁政権の動揺 ・地域紛争の激化と深刻化する貧困 ・現代文明の諸相	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている b:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:第二次世界大戦後の諸地域世界の問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:第二次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。